

令和6年度第1回養老町地域公共交通会議 議事概要

●日時 令和6年6月26日（水） 9：50～10：51

●場所 養老町中央公民館 中ホール

●出席者〔委員：敬称略〕

中部運輸局岐阜運輸支局	下平 真一郎
岐阜協立大学教授	竹内 治彦
岐阜県都市建築部都市公園・交通局公共交通課	野田 なつみ
大垣土木事務所施設管理課	今瀬 貴康
養老警察署交通課	佐藤 方紀
大垣警察署交通第一課	高橋 俊之
海津警察署交通課	高橋 誠
名阪近鉄バス（株）	山田 規光久
スイトトラベル（株）	勝野 ひとみ
岐阜近鉄タクシー（株）	高橋 政信
（一社）養老線管理機構	伊藤 要一
養老鉄道（株）	出井 洋司
（公社）岐阜県バス協会	木村 治史
名阪近鉄バス労働組合	加藤 浩司
養老町区長連絡協議会	安田 澄雄
養老町老人クラブ連合会	澁谷 八代子
養老町老人クラブ連合会	近藤 とし江
大垣市都市計画部交通政策課	不破 雅裕
大垣市上石津地域事務所地域政策課	馬淵 義昭
海津市市民環境部市民活動推進課	山崎 賢二
輪之内町住民課	岩田 好弘
養老町長	川地 憲元
養老町産業建設部長	大倉 修

〔事務局〕 養老町総務部企画財政課
養老町産業建設部産業観光課
養老町産業建設部建設課
養老町総務部企画財政課
養老町産業建設部産業観光課

中島 和哉
竹中 修
吉村 和人
伊藤 良彦
渡邊 智行

養老町産業建設部産業観光課
養老町産業建設部建設課
養老町産業建設部建設課

久保山 正也
小島 利彦
村田 杏奈

●欠席者 岐阜国道事務所大垣維持出張所 太田 宗徳

- 議題 協議事項 1 養老町オンデマンドバス道路運送法第 7 9 条許可の更新について
協議事項 2 養老町地域公共交通計画の策定について
報告事項 1 インターネット予約方法の変更について

●議事

協議事項 1 養老町オンデマンドバス道路運送法第 7 9 条許可の更新について

○事務局から説明
(議第 1 号 養老町オンデマンドバス道路運送法第 7 9 条許可の更新について)

○委員からの質問・回答、意見・提案等
なし

○「養老町オンデマンドバス道路運送法第 7 9 条許可の更新について」承認

協議事項 2 養老町地域公共交通計画の策定について

○事務局から説明
(議第 2 号 養老町地域公共交通計画の策定について)

○委員からの質問・回答、意見・提案等
・計画の13ページの課題の中で、①の継続について、本当に担い手不足で、大型二種免許の所持者は50代以上が8割以上で、現在2割くらいしか若い世代の20、30、40代がないというのが問題である。子どもさんや色々な人に魅力度を高めるような取り組みをもう少し具体的に取り入れてほしい。子どもさんに親しんでいただくようなことなども事業者としてやっていかなければいけな

い。桑名市では、桑名市を走っている三重交通さんが、消防署を退職された方を同じような地位や処遇で採用される協定を結ばれた。福井県では公務員や公務員を取り巻く団体の方で、大型免許や二種免許を持っている人を、退職後に斡旋する取組みが始まっており、私どももなんとか求人を頑張っていきたいが、養老町さんにもそのような取組みを考えてほしい。養老町さんも人口が減少してきて、バスの運転手や公共交通の担い手も減少していくとなると、共倒れになってしまう可能性が非常にあるので、危機感を持って私どももやっていきますので、どうかご支援ご協力をいただきたい。

- ・養老町のイベントでバス等も入っていただいてお子さんと写真を撮るなど、今までドライバーとしていなかった層を取り入れて、ハイエースのみならば運転しやすいといった、そういう部分の関係性もある。何か新たな運転手層を拡大することの可能性はありますか。

→新たな運転手層については、高校卒業した女性がバスの運転手になりたいということで、運転手としてデビューすることを話題として取り上げられた。情報発信で少しでも魅力を高めることはやりたいと思う。併せて、バス業界では整備士も成り手がおらず、整備士もガイドさんも色々な業種がいなくなっている、色々とアイデアを出しながらやっていきたいと思う。

- ・タクシーはバスさんよりも早くから乗務員不足で、業界全体的に労働力自体が足りていない。根本的なところが足りていない、その中からタクシー、バスを選んでいただくというところまではなかなか行き着かないのが現状。ある程度、市町さんの協力や広報も出来る範囲内ではお願いはしているが、現実的にこの5年間で運転手はかなり減少している。最近は女性の方が地元が多いので、女性のタクシー運転手さんを考えている。今、女性の方を積極的にハローワーク等で求人登録して募集している現状だが、なかなか登録がない状況。色々な公の場で広報する必要があるのかなと感じている。将来に向けて、エッセンシャルワーカーの乗務員さんの育成に向けて、小学校などでタクシー乗車体験などの実施をしている。タクシーも二種免許があり、基本的にそれほどハードルは高くないが、二種免許を取るというところで敬遠される方も多分いらっしゃると思うので、そちらの印象を変えるため、頻繁に会社説明会を広報し、会社説明をしてから面接をするスタンスに変えて頑張っている。
- ・養老鉄道の運転士確保の取組みについては、今後、近鉄からの出向社員で賄えない可能性もあるので、養老鉄道で直接雇用のプロパー社員を5～6年前から雇っている。だいたい毎年2人ずつくらいプロパー運転士を養成していきたいと思う。また、今年の8月13、14日に養老鉄道のバックヤードツアーを開催予定。これは親子で小学生1年生から6年生で参加していただき、技能仕事や車両の仕事をしていただくというのを無料で現在募集している。
- ・養老鉄道さんは若い運転士の雇用が進んでいるということだが、工夫してるこ

とはあるか。

→ 昨年の採用から正社員で採用し、元々契約社員で在席していた社員も正社員として、今のところ離職なく続けてやっている。給料は近鉄より少し安い。

- ・ 8 ページの利用状況のアンケートで、オンデマンドバスの利用率が名阪近鉄バスや一般タクシーより利用率が低いのは、何か把握されているか。

→ オンデマンドバスが登録制の利用としているため、初回までの利用される際の煩わしさという部分があるかもしれない。アンケートの結果の中からも登録についての話もあるため、その部分を今後検討していく必要がある。また、今後若い方にもご利用いただくような方法等が必要になる。

- ・ オンデマンドバスはバス停の数もととても充実しており、台数等も含め相当充実している。朝方には予約の電話が混み合う状況にあり、充実しているし混み合っているが、町民の皆さん全体からすると、利用されている方が少ないので、どう強化するか。どんどん増やせば増やすだけ経費がかさむだけという部分もあるので、本当にニーズを掘り起こすことに意味があるのかという部分も問われるところ。逆に言えば、皆さんお車をお持ちでそれほど必要がないから利用がないのか、必要な方が利用されているから現状で良いという考え方もあると思うので、この利用状況になっている理由をしっかりと確認して、困っていらっしゃる方がいたら上手く利用できるようにしなければならないし、現状で良いのであれば良いので、利用状況をどうしても増やすというよりは、現状を把握することが大事。
- ・ 運転士不足は県としても取り組んでいる。県や国からタクシーの利活用について話があるため取り組み方など相談してもらえるとよい。
- ・ 利用者を増やす取り組みの具体的な一つの案として、他の自治体の公共交通会議に出たときに、健康増進の意味でも高齢者の方の外出を促す取組みで、企画のものの一つ提示して利用者が増加した例がある。15 ページのオンデマンドバスについて利用増進する取組みに企画的商品を出すことで観光客の申込みも見込めるのでは。

→ 16 ページの目標 1 に関係がある。担い手の確保については、目標 3 の中に入れていけると思うので、そういった形でお話させていただきたい。

○「養老町地域公共交通計画の策定について」承認

報告事項 1 インターネット予約方法の変更について

○事務局から説明

(報第 1 号 インターネット予約方法の変更について)

○委員からの質問・回答、意見・提案等

- ・養老 Pay のアプリをダウンロードし、スマホに入れないと使えないか。ワンタイムで何か予約する方法を実装する予定等はあるか。
- 町民・観光客を含めて、養老 Pay 内で予約できるようなシステムを進めていきたい。今後、観光客の取り込みも含めて、利用者証の登録も検討していく中で追加していきたいと考えている。
- ・養老 Pay で統一していくとして、観光客の方を意識するのであれば養老 Pay のアプリが観光に役立つものになりうるか、なかなか難しいことがあるが、それがあるかどうかも含めて検討していただきたい。